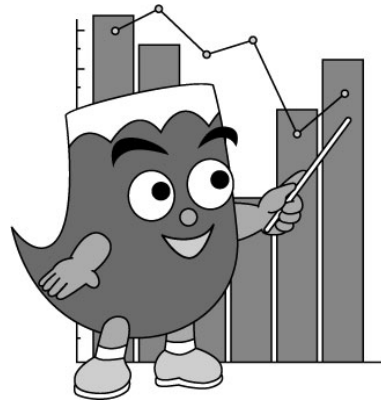


平成30年度(第67回)

静岡県統計グラフコンクール

作品募集要領



主催	静岡県 静岡県教育研究会	静岡県統計協会
後援	静岡県教育委員会 一般財団法人静岡県教育会館 静岡県私学協会 静岡新聞社・静岡放送 静岡朝日テレビ 朝日新聞静岡総局 産経新聞社静岡支局 毎日新聞静岡支局 NHK静岡放送局	一般社団法人静岡県出版文化会 公益財団法人統計情報研究開発センター 中日新聞東海本社 テレビ静岡 静岡第一テレビ 共同通信社静岡支局 時事通信社静岡総局 読売新聞静岡支局

1 目的

統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに資するため、県内の小学生、中学生、高校生、大学生及び一般から統計グラフを募集します。

2 対象

県内に在住、または通学・通勤する小・中学生、高等学校以上の生徒、学生及び一般

3 募集内容

統計グラフ

4 募集区分

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| (1) 第1部(小学校1年生～2年生) | (4) 第4部(中学生) |
| (2) 第2部(小学校3年生～4年生) | (5) 第5部(高等学校以上の生徒、学生及び一般) |
| (3) 第3部(小学校5年生～6年生) | (6) パソコン統計グラフの部(小学生以上) |

5 テーマ

テーマは各部とも自由です。

ただし、小学校4年生以下は、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

6 応募作品の規格等 ※ 規格外の作品は審査の対象外となります。

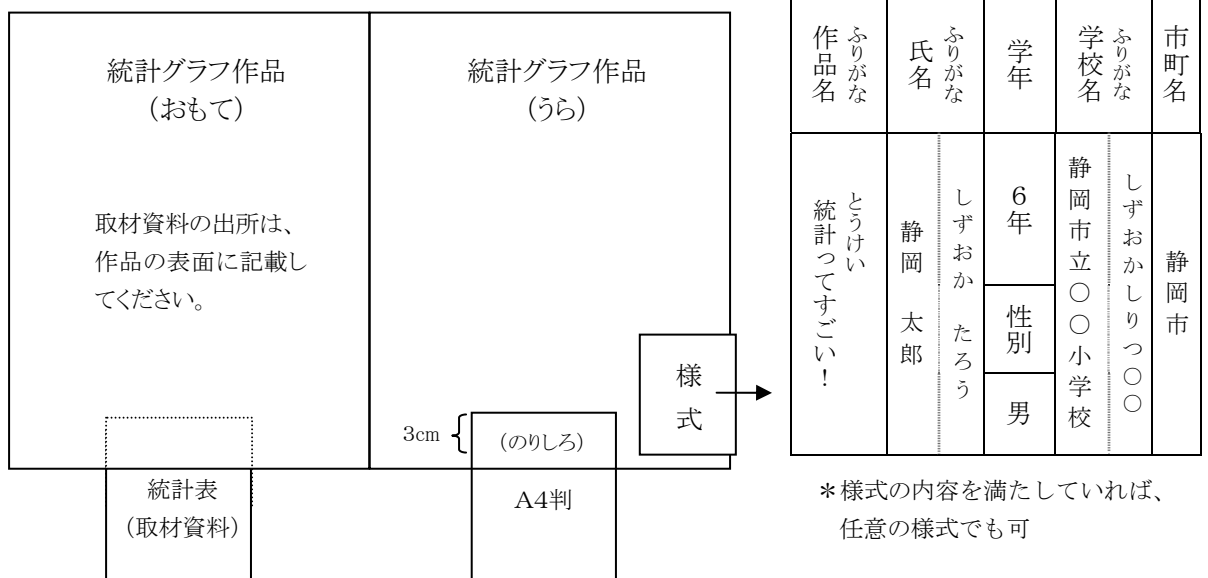
- | | |
|-----------|---|
| (1) 規格 | 各部とも、72.8 cm×51.5 cm(B2判) ※ 用紙は貼り合わせでもB2判であれば可。 |
| (2) 紙質・色彩 | 紙質は画用紙又はケント紙(模造紙等の薄紙は不可)とします。また、裏面の板張り(パネル仕上げ)や表面のセロハンカバーなどは認められません。色彩は自由(単色でも可)です。切紙や折り紙をのり付けする場合は、はがれ落ちることのないように十分注意してください。 |
| (3) 応募点数等 | 1人の応募点数は制限しませんが、2枚以上にわたる「シリーズもの」は認められません。 |
| (4) 合作の人数 | 1作品について、5人以内とします。 |

7 応募上の注意

- (1) 応募作品は、自分で創作したものに限ります。
- (2) 第三者(応募者以外の者をいいます。)が作成したイラストや写真等を使った作品は応募できません。
(利用許諾の有無にかかわらず、第三者が作成した著作物の全部又は一部の使用はできません。)
＜例＞アニメ・漫画のキャラクターや商品のロゴ、市販のキャラクターシールなどの使用はできません。
(自分で描いたものでも、使用できません。)

- (3) 応募作品には裏面右下に次の様式(任意の様式でも可)により、市町名・学校名・学年・性別・氏名・作品名を明記してください。なお、学校名・氏名・作品名は、必ずふりがなを付けてください。(《例》参照)
- (4) 自己の観察又は調査によった場合は、その観察又は調査の記録を別紙として付けてください。
- (5) 自己の観察又は調査によらないで、外から資料を得た場合は、その取材資料の出所を作品表面の適宜の位置に明記するとともに、統計表(取材資料)を別紙として付けてください。
※インターネットによる資料を統計資料の出典とする場合、URL(トップページで可)及びホームページ名を作品表面の適宜の位置に明記してください。
- (6) 観察、調査の記録又は作品に使用した統計表(取材資料)は、A4判の用紙に記載し、作品の裏面下部に3cmの「のりしろ」で、次の例のように貼り付けてください。
なお、統計表(取材資料)が3枚以上になる場合には、表に県及び市町名、応募する部名、学校名、氏名を記載したA4判の封筒に入れて、作品には貼り付けずに提出してください。

《例》



- (7) グラフ部分をパソコンで作成したものは、パソコン統計グラフの部として、応募してください。
- (8) 作品は二つ折にしたり、筒型に丸めたりせずに、そのままの形で送付してください。

8 応募方法

- (1) 市町立小・中学校の場合
各学校は、児童生徒の作成した統計グラフを取りまとめ、管内の市町教育委員会等の指示により提出してください。各市町教育委員会等は、各学校から提出された統計グラフを選出し、静岡県教育研究会事務局(〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-12 静岡県教育会館 2階)まで送付してください。
- (2) 国立小・中・高等学校・特別支援学校、県立中・高等学校・特別支援学校、市立高等学校
私立小・中学校、高等学校・特別支援学校の場合
各学校は、児童生徒の作成した統計グラフを取りまとめ、静岡県統計協会(〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県統計利用課内)まで送付してください。
- (3) 上記(1)、(2)以外の場合
静岡県統計協会(〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県統計利用課内)まで送付してください。

9 選出

各市町教育委員会等は、「11 審査基準」に従って、下記のとおり選出してください。
また、静岡県統計協会取りまとめ分についても同様とします。

小 学 校	応募総数の15%以内(端数切り上げ)
中 学 校	応募総数の15%以内(端数切り上げ)

※ 左記の割合は目安です。

10 締め切り

<市町立小・中学校>

学 校 → 平成 30 年 9 月 3 日 (月) 市町 (教育委員会等)

<国立小・中・高等学校・特別支援学校、県立中・高等学校・特別支援学校
市立高等学校及び私立小・中・高等学校・特別支援学校>

学 校 → 平成 30 年 9 月 3 日 (月) 静岡県統計協会

<一般・その他>平成 30 年 9 月 3 日 (月) 静岡県統計協会

平成 30 年
9 月 10 日 (月) 必着

静岡県教育研究会

11 審査基準 ※ 第 66 回統計グラフ全国コンクール募集要領に準拠

(1) 共通基準

① 誤りはないか

目盛り、単位の取り方、文字・数字、脱字、記入漏れ(基軸線(0線)など)。

② 書き落としはないか

資料の出所、観察・調査の方法。

③ 的確か

見出し(タイトル)の表現、配色。

(2) 各部別基準

第1部、第2部

・子どもらしい身近なテーマをとらえて、それにふさわしい観察・調査をし、グラフに表しているか。

第3部～第5部及びパソコン統計グラフの部

・統計データを正しく理解し、グラフ化することによってデータの持つ事象が理解されやすくなるよう工夫されているか。訴えたいテーマが的確にグラフに表れているか。また、テーマは斬新で、興味を喚起するものであるか。パソコン統計グラフの部では、パソコンの機能を十分に活用したものであるか。

12 入賞区分

特別賞 [県知事賞・県教育長賞・県統計協会会長賞・県教育研究会会長賞・県出版文化会理事長賞・
県教育会館理事長賞] 各賞とも各部1点以内

県内報道機関賞 各部概ね1点

入選	12 点程度	佳作	54 点程度
努力賞	300 点程度	学校賞	6校以内

13 発表、表彰及び作品展示

(1) 発表 平成 30 年 9 月下旬に、本人又は学校あてに通知します。

(2) 表彰 特別賞及び県内報道機関賞作品は、静岡県統計功労者表彰式(平成 30 年 11 月 27 日(火)開催)において、表彰します。

(3) 作品展示 特別賞及び県内報道機関賞作品は、優秀作品展示会及びインターネットにおいて、一般公開します。

14 募集要領

募集要領は、静岡県統計情報ホームページ「統計センターしずおか」内の、キッズページ「グラフ博士のとうけい工場」(<https://toukei.pref.shizuoka.jp/kids/index.html>)に掲載しております。

また、過去の優秀作品や応募作品の詳しい作り方も掲載しています。是非、ご活用ください。

15 その他

(1) 当コンクール入賞作品で、特に優れている作品は、第 66 回統計グラフ全国コンクールに出品します。

(2) 作品は、表彰式終了後、各市町教育委員会等に返却します。

また、全国コンクールに入選した場合、作品の返却は1年後となりますので、御了承ください。

(3) 当コンクールへの応募をもって、報道提供、統計刊行物への掲載及びインターネットのホームページへの掲載を了承したものとみなします。なお、ホームページでは、作品と市町及び名字のみ掲載します。

(4) 特別賞及び県内報道機関賞作品は、展示会、カレンダー作成等に利用します。

著作権は、静岡県及び静岡県統計協会に帰属します。なお、全国コンクールで、特選又は入選を受賞した作品の著作権は、公益財団法人 統計情報研究開発センターに帰属します。

グラフのまとめ方（例）

1 作成手順

①テーマを決めよう！

自分の好きなこと、興味のあること、ニュースなどで話題になっていることなどからテーマを決めましょう。

②データを集めよう！

決まったテーマについて、調べてみましょう。

☆調べ方

- ・アンケートをとる
- ・観察する
- ・本やインターネットで探す

※小学校1～4年生の作品は、自分で観察・調査したものに限りま

③グラフを作ってみよう！

まず、調べた結果を表に整理してみましょう。

次に、どのグラフを使うか考えま

※棒・折れ線・帯グラフには0基点が必要

☆主なグラフの使い分け

◆棒グラフ

量の大小を比較するとき

◆折れ線グラフ

増減など量の変化を表すとき

◆円グラフ・帯グラフ

割合を表すとき

※学年（学習段階）に応じたグラフを使用

グラフの種類を決めたら、下書き

最後に、グラフから何が分かるか

④レイアウトを考えよう！

グラフやタイトルなどの位置や配色について考えてみましょう。伝えたいことが分かりやすいレイアウトを

⑤下書きをして、色をぬろう！

レイアウトができたなら、本番の紙に下書きをして、色を塗り

⑥見直しをしよう！

最後に、もう一度、見直しを。0基点や単位、出典や使用した資料の時点が書いてあるかや、観察・調査の記録を裏面下に貼ったかなど



詳しい作品の作り方は、静岡県統計キッズページを見てね！
『グラフ博士』で検索

2 作成上の注意

(1) タイトル

グラフの内容や、作品を通じて何を伝えたいのかが、よく分かるようなタイトルをつけ

(2) レイアウト

グラフの見せたい順番や全体のバランスを考慮して、レイアウトを

(3) 字体・文字の大きさ

- ① 文字の大きさはテーマに沿って、一定の順序を決めて、規則正しく書き入れるように
- ② 書き入れる文字は、できるだけ同じ字体にするとバランスがとれて、見やすくなり

グラフに使う字体(例)

☒ 表
《 明 朝 体 》

☒ 表
《 ゴ シ ッ ク 体 》

☒ 表
《 楷 書 体 》

(4) 線の太さ

原則として、棒グラフ、折れ線グラフの基軸線(0線)は太くし、目盛線などのタテ線や

(5) 統計資料の出所

- ① 統計グラフには、その統計のもととなる出所・出典を作品の表面の適
- ② インターネットを出典とする場合には、URL(資料のトップページでも可)及びホームページ名を作品表面の適

(6) 数値の単位

- ① 数値の単位は、必ず書き入れ
- ② 原則として、収集した資料の数値と作品のグラフの表示(数値)は、一致させ

(7) 色彩

- ① 色の種類(色相)、② 色の明るさ(明度)、③ 彩度(色の鮮やかさの程度)の性質をよく考え、コントラスト・配色に気をつけ

お問合せ先

静岡県経営管理部統計利用課

静岡市葵区追手町9-6 (TEL 054-221-2298)

toukeiriyou@pref.shizuoka.lg.jp